

# 感染状況・医療提供体制の分析(9月22日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (9月15日時点)	現在の数値 (9月22日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数 (人口10万人当たり)	総数	347人 (18.4人)	139人 (7.4人)	↓	<p>総括コメント</p> <p>レベル4. 感染縮小の兆候があるが特別な警戒が必要</p> <p>新規陽性者は<u>人口10万人当たり7.4人</u>と減少も、いまだクラスターは複数発生するなど、感染の火種は残る。 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の効果もあり新規陽性者数は減少も、宣言・措置の効果の意味あるものにするため、ワクチン後の感染対策含め、現在の感染対策を継続する必要がある。感染者数を低いレベルで抑え込みながら、リバウンドを防ぐべきである。</p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	29人 (8%)	14人 (10%)	↓	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	153人	60人	↓	
		県南西部	165人	55人	↓	
		高梁・新見	4人	0人	↓	
		真庭	1人	3人	↑	
	市中潜在・感染	③新規陽性者における 接触歴不明者	数	130人	46人	
割合 (③/①)			37%	33%	↓	
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)	187人 (34%)	80人 (14%)	↓	<p>総括コメント</p> <p>レベル2. 体制逼迫の状態は緩和されつつあると思われる</p>	
	⑤宿泊療養者数	161人	74人	↓	<p>入院患者数、自宅・宿泊療養者数減少し、療養者総数含め、ステージIIIを脱した。各医療機関とも、医療提供体制はほぼ正常まで回復している。</p>	
	⑥自宅療養者数	267人	100人	↓		
	⑦重症者数	13人	5人	↓		